

オールインワンパッケージ専用モデル 車種別接続情報

AIS-0007

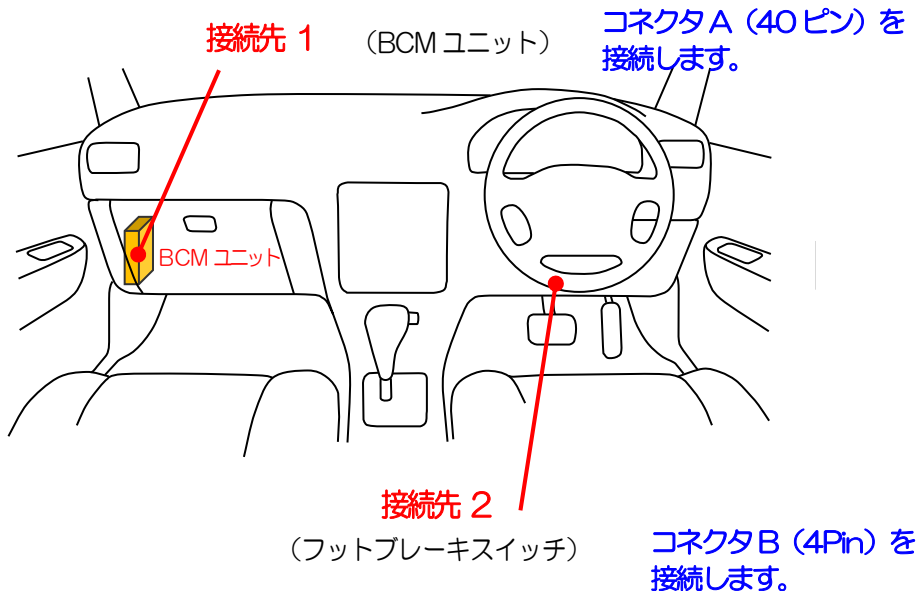
メーカー	スズキ	車体型式	C26
車種	ランディ	年式	H22.12~H28.7

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2~3分待ってから作業を行ってください

- 取付には、**純正のインテリジェントキー(予備キー)**が別途必要になります。
- グロー時間設定、ターボタイマー設定、セルモータ停止タイミング検出方法の選択、始動判定方法の選択、IG設定は**工場出荷時(初期設定)**の状態で使用ください。
- 電気式ドアロックスイッチ(ドアロックスイッチで全席のドアロック制御が可能なもの)装備車のみドアロック制御の取り付けが可能です。
キースレスエントリー(A-17SF)オプション対応の機種 ⇒ **キースレスエントリーA-17SF**が別途必要です。

【 エンジンスターター使用上の注意 】

- エンジンスターターによるアイドリング時の使用制限
 - ・エンジンスターターでのエンジン始動中は、インテリジェントキーによるロック/アンロックはできません。
 - ・エンジンの始動時にストップランプが点灯します。
- その他使用制限
 - ・ターボタイマー機能は使用できません



グローボックス奥にあるBCMユニット

※ グローボックスの取り外しには、トルクスドライバー (T 20) が必要です

必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください

BCM ユニット



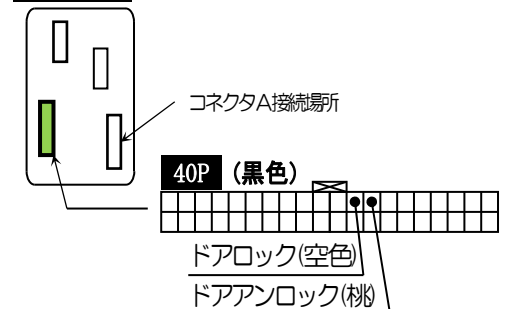
コネクタA (40Pin) を接続します

〈注意〉

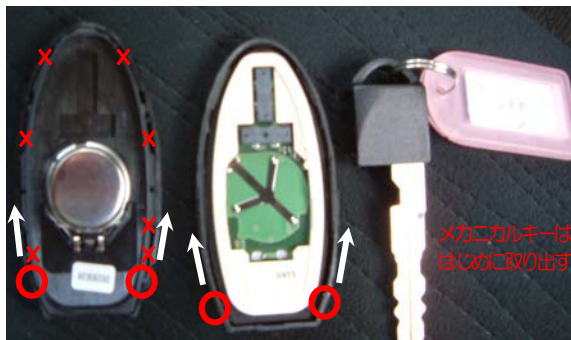
必ず、上記赤丸の40Pinコネクタ(白色)に接続してください
隣(白丸部分)に40Pinコネクタ(黒色)がありますが接続先ではありません
必ず、白色40極カプラを外し、割り込み接続してください。

本機でドアロック/アンロック操作を使用する場合の接続先

グローボックス奥にあるBCM

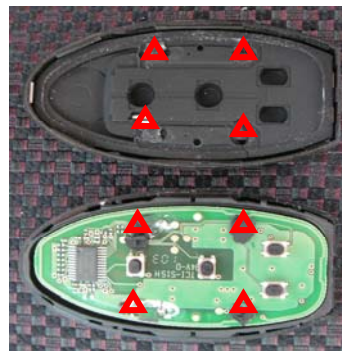


インテリジェントキーのばらし方



×ツメ位置

背面にささっているメカニカルキーを取り出し、赤丸の位置から爪やマイナスドライバーなどで矢印方向からこじ開けると基板部分が取り出せます。



△ 接着箇所

基板部分を取り出す際、リモコン内のゴムラバーと基板が車両によって写真(△)の位置で接着されている場合があります。

【注意】

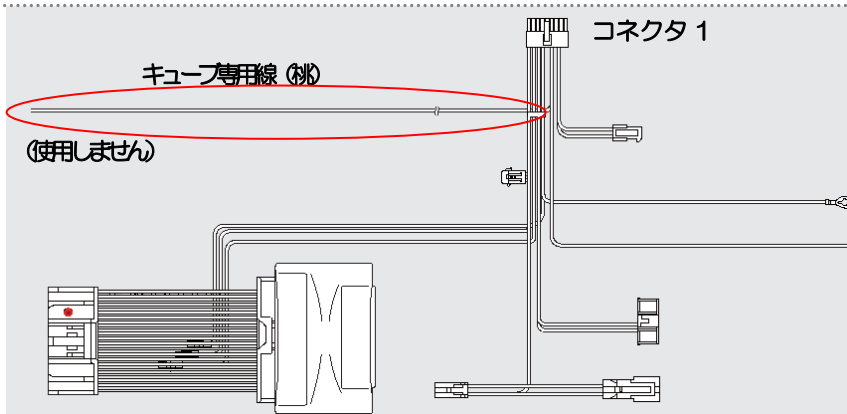
基板部分を取り出す際や製品のダミー電池取付時は、基板部分側面のコイル(エナメル線)を切らないよう注意してください。



コイル(エナメル線)

キューブ専用線(桃)について及びイモビ対応アダプター設置時の注意事項

< キューブ専用線(桃)について >



コネクタ-1から出ているキューブ専用線(桃)は使用しません。(接続しません) 絶縁処理をしてください

左図 赤丸の配線

< イモビ対応アダプター設置時の注意事項 >

- ・オーディオ裏や金属で覆われた場所などには設置しないでください。エンジンスタートでの稼働ができないことがあります。
- ・車両のプッシュスタートスイッチの近く(10cm以内)には設置しないでください。
- ・熱風や水のかかる場所には設置しないでください。

全ての接続が終了したら、P・ポジション検出を行います。

● P・ポジション検出の設定

- 1) スタータユニットの電源投入後、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
- 2) シフトレバーがパーキング(P)・ポジションに入っていることを確認します。
- 3) インテリジェントキーを携帯し、フットブレーキを踏まずにプッシュスタートスイッチを押してIGをONにします。(プッシュスタートスイッチを押すごとに、OFF → ACC → IG → OFF・・・の順に切り替わります。) 一約3秒後にジャンクションユニットから『ピピッ』音が出ます。
- 4) ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください) →ジャンクションユニットから『ピッ』音が出ます。
- 5) ブレーキペダルを離します →ジャンクションユニットから『ピロロロロロ』音が出ます。
- 6) プッシュスタートスイッチを押して電源をOFFにします。